

（一）都市に於ける住宅問題 今度の震災で心配した事は経済的復興力の無い震災地帯に於て政府が或る程度の援助を與へねば焼跡復興者の個人バラックは凡て不良住宅にばかり集團バラックにばかり集團バラックは貧民窟とかはるたろうと云ふ事であつた。だが其の心配は事實となつて現はれ昨年来に較べて今日の状態が如しも美しくはなつて居ない事は眞に悲しむべき事である。今本所區を中心として調査して見ると約半數は四圍の焼トマンを薄板に取替た程度進んだ然し大雨には進む耐え得るものではなくて依然として不良住宅である事は羨りはない。

實に不衛生的な住宅のみである。今本所區六七ヶ所の内到底許す可らざる不良住宅と認むべきものは統計五〇八戸其の内焼トマンのみにて作た家屋が二七六〇戸木造バラック二三二戸と云ふ實に寒心に耐さざる状態を示して居る。と述べ住宅問題は實に由々敷問題である。東京府が府管住宅を建設するも細民階級にはかゝる其の思慮に浴し得ない政府が大々的施設を及すに非ざれば解決は不能である。今や我國には重大なる農村問題と細民住宅問題とは蓋々無産階級の大问题となり婦孺が慍下る國民的努力を以て解決せねばならぬ時期に迫つて